

した。基準値を超えた箇所は立入制限を行い、8月21日に低減作業が完了しました。文部科学省の「学校の校舎・校庭等の線量低減について」及び本市の「放射性物質により環境汚染された土壌等の除染等の措置に関する対処方針」に基づき、枝や枯れ草を除去し、可燃物として清掃センターに排出するとともに、堆積していた土壌の天地返し及び覆土作業を行いました。低減作業後の空間放射線量は、地表0.5メートルで毎時0.18から0.20マイクロシーベルトの範囲です。

村上中学校は、8月27日に校庭の防災倉庫左側で行った空間放射線量の測定の結果、地表1メートルで毎時0.20から0.24マイクロシーベルトの範囲でした。基準値を超えた箇所の低減作業は8月29日に完了していますが、萱田小学校と同様に文部科学省及び本市の対処方針に基づき対処しています。原因である倉庫付近に置かれていた土のうは、遮水性のある袋に入れ、ブルーシートを被せて保管しています。低減作業後の空間放射線量は、地表1メートルで毎時0.15から0.19マイクロシーベルトの範囲です。

この3か所の低減作業の結果は、市のホームページでお知らせしています。今後も継続的にモニタリングを実施します。

■清掃センターにおける放射性物質の測定結果 焼却灰1キログラム当たりの放射性セシウム濃度は、7月に測定した結果、国の埋め立てに関する基準1キログラム当たり8,000ベクレルを下回っています。6月から8月に測定した焼却炉の排ガス、最終処分場周縁の地下水、浸出水処理施設の放流水の放射性セシウム濃度及び敷地境界での空間放射線量の測定結果は、それぞれ基準値以下です。今後も引き続き測定・モニタリングを行い、適正な廃棄物処理を行います。

■空間放射線量計の貸し出し状況 昨年3月5日から実施している空間放射線量計貸し出しの今年度の件数は、8月末現在で53件です。

■食品の放射性物質簡易検査の実施 消費者庁から貸与された放射性物質検査機器による食品の検査体制が整備され、9月2日から市内に住所を有する人を対象に無料での検査を実施しています。8月19日から事前予約の受付を開始し、8月末現在で7件の予約がありました。

検査項目は、放射性セシウム134と137で、対象品目は、自家消費を目的に栽培された農産物、飲料地下水、流通している食品です。検出限界は、1キログラムあたり10ベクレルです。

■原子力発電所の事故に伴う東京電力株式会社

への賠償請求 上下水道局が23年3月に実施した乳児への摂取制限に伴う応急給水作業に関する人件費を本年5月27日に請求したところ、105万2,737円が7月4日に支払われました。これまでに同社から支払われた賠償金の総額は、1,301万8,878円です。原子力発電所の事故に伴う損害については、今後も請求内容が取りまとめられたものから随時請求していきます。

■コミュニティバスの試行運行期間延長とダイヤ改正 コミュニティバスは、昨年9月1日から試行運行をしています。本格運行に向けた基礎資料とするため、本年2月にコミュニティバスのバス停から半径300メートルの世帯を対象としたアンケート調査や、利用者を対象としたヒアリング調査を実施するなど、利用実態や課題の把握に努めてきました。

その結果、現行計画の運行では、利用者数や満足度などからも、このまま本格運行へ移行することは難しい状況であることから、運行計画を見直すことにしました。このため、しばらくの間は現行コース・運賃で試行運行期間を延長します。また、運行経費削減のため、通学支援コースを除く各コースで利用者が少なかった便を減らすダイヤ改正を9月1日に行いました。

ダイヤ改正の詳細は、8月15日号の広報やちよ並びに市ホームページでお知らせしています。

■八千代ふるさと親子祭 今年で39回目を迎えた八千代ふるさと親子祭は、親子祭実行委員会の主催により、「和のもとに集まろう！」をスローガンに、8月24日に開催されました。

今年には花火大会が休止となりましたが、昼間の催事では、市民会館を会場とした「はいだしょうこファミリーコンサート」のほか、市民体育館では「千葉ジェッツプロバスケットボール」、野球場では「熱気球搭乗体験」など、親子で楽しめる様々なイベントが開催されました。

夜は多目的広場をメイン会場とし、フィナーレを飾った「手筒花火と和太鼓・笛」の共演では、高く吹き上がる炎に来場者からは歓声が沸くなど、盛況のうちに無事終了しました。

実行委員会の発表では、祭当日は7万人を超える来場者がありました。市も共催者として、主に安全対策面で支援し、会場周辺の警備や消防救急対策などに、職員約90人体制で対応しました。

翌日の会場周辺一斉清掃には、市民ボランティアなど537人、市職員143人、合わせて680人が参加しました。

8月24日・25日の両日、親子祭第2会場とし

て、勝田台駅前商店街のみずき通りで「サマーフェスタIN勝田台」が開催され、神輿の練り歩き、大ビンゴ大会などが行われ、約5万人の来場者で賑わいました。

今年の親子祭も事故なく無事に終えることができ、ご協力をいただきました関係者の皆さんには、心より感謝申し上げます。

■昨年5月に発生した利根川水系においてホルムアルデヒドが検出された水質事故に係る損害賠償請求訴訟 本年第1回定例会で報告したとおり、水質汚染の原因物質ヘキサメチレンテトラミンの排出者である埼玉県DOWAハイテック株式会社を相手に、24年12月26日付け事業管理者名で不法行為に基づく損害賠償請求を行いました。支払期限の本年1月18日を経過しても履行がされず、また回答も市の考えと相容れない内容であったことから、訴訟により損害賠償を求めることにしました。

今回の訴訟について、1都4県で協議した結果、事業体で対応や損害などが異なることから、給水停止や応急給水に至った千葉県内7事業体の千葉県水道局、北千葉広域水道企業団及びその構成団体である八千代市、野田市、柏市、流山市、我孫子市が共同原告となり、8月30日に千葉地方裁判所へ提訴しました。損害賠償請求額は約2億3,000万円で、その内、本市の損害額は608万3,917円です。そのほかの事業体である1都3県は埼玉地方裁判所へ提訴しています。

■利根川水系ダム水位低下による渇水対策 本市の水道水の約45%の水源となっている利根川水系ダム群の貯水量が、6月からの少雨で、平成4年に8つのダムとして運用を開始して以来、最低の貯水率となっています。

国、県、河川関係機関で構成される利根川水系渇水対策連絡協議会は、7月24日午前9時から10%の取水制限実施を決定しました。利根川水系の江戸川から取水している北千葉広域水道企業団も、同日午前9時から10%の取水制限を実施しました。10%の取水制限では、本市の施設容量で直ちに家庭への給水に影響が出ることはありませんが、今後水源地の降雨状況により、取水制限が拡大した場合、地下水からの取水量を一時的に増やすなどの軽減措置だけでは限界があることから、配水圧力を低下させるなどの給水制限も段階的に行っていく予定です。

※10%の取水制限は、9月18日午後1時をもって全面解除となりました。節水にご協力いただき、ありがとうございました



（仮称）八千代市債権管理条例（素案）への意見を募集

「八千代市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、（仮称）八千代市債権管理条例（素案）について、広く市民の皆さんから意見を募集します。意見を提出できる人は、市内に住所を有する人、市内に事務所または事業所を有する人、市内の事務所または事業所に勤務している人、市内の学校に在学している人、当該素案に利害関係を有する人です。意見に対しての個別回答は行いません。

▼内容 市の債権の管理に関し、必要な事項を定めることにより、債権管理の一層の適正化を図り、公正かつ公平な市民負担と円滑で健全な財政運営を図ることを目的とする ▼募集期間 10月15日（火）～11月14日（木）（必着） ▼公表場所 債権管理課情報公開室、支所・連絡所、公民館、図書館、市ホームページ ▼意見の提出方法・送付先 募集期間中に公表する素案に記載 （債権管理課）

「困ります！ 自転車置きざり 知らんぷり」駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施中

11月30日（土）まで駅前放置自転車クリーンキャンペーンが行われています。市では、八千代台、勝田台、八千代緑が丘、八千代中央の各駅周辺を自転車の放置禁止区域に指定し、放置された自転車はほぼ毎日移動・保管しています。

放置された自転車は、お年寄りや体の不自由な人、ベビーカーを利用している人などの通行の妨げになり、点字ブロックの上に置かれると目の不自由な人を誘導できなくなります。また車道や歩道に置かれることで事故の原因になり、救急車など緊急活動の障害になることもあります。

「短い時間だから」「1台くらい」「みんな置いてあるから」と軽い気持ちで車道や歩道に置かれた自転車が、多くの人の迷惑になっていることを自転車に乗る一人ひとりが認識し、自転車の放置をやめ、自転車駐車場を利用してください。 （生活安全課）

募集 「役立つ、中高年の再就職支援セミナー」と「就労に関する個別相談」の参加者

①中高年の再就職支援セミナー 40～65歳の求職中の対象。再就職に向けた応募書類の書き方、面接対策など。雇用保険受給資格者証を持っている人はお持ちください。先着20人。

▼日時 11月7日（木）午前10時～午後0時30分 ▼場所 総合生涯学習プラザ

②就労に関する個別相談 職業訓練・能力開発の情報、応募書類添削、就職活動の悩みなどの相談を1人45分程度でお受けします。応